

ROOFTENT CAMPING Vol.3

軽

自動車は普通車に比べ維持費が安いので、その浮いた分で遠くへ出かけたり、おいしいものを食べたり。そんなふうにして道の駅などで車中泊しながら旅を楽しむでいた佐藤さん。

たまたま出かけた露張のキャンピングカーショーでルーフトントと出会った。「キャンピングカーの常設ベッド感覚で使える」と購入した。

昨年は、年間約30泊しているがそのほとんどが車中泊で、駐車場やSAなどを使うこともあるという。



乗り降りが大変じゃないですか、旅先で開かれることもあるが、



●フリース地のグラウンドシートを流用した自作したインナーテント。ウインターフードを合わせると外気温と10度C違うそうだ

キャンピングカーでいってみれば、バンクベッドのようなもの。慣れればとくに不自由はない。今回は、いつもいっしょに出かけている奥さんは都合がつかなかったが、その奥さんが自作するDIYがインナーテントだ。100円ショップで購入したというフリース地のキャンピンググラウンドシートを3枚使って、高さを合わせて切り取り、クリップで上部を留めたもの。ウインターフードと合わせて使うと、車内の温度が逃げないので、特に熱源なくても2人がテント内にいるだけで、外気



●靴の収納は、テントとクルマの屋根の空き間。滑り止めマットを使ってラックの滑りと傷つきを防止



●ハンゴの脚の先端はプラスチック製。滑りとズレの防止のためにゴムボールを切ったものを取り付けた

温と10度Cも違うというから驚きだ。ウインターフードのみだと3度Cくらいの差なので、冬期もルーフトントを使う人にはお薦めのDIYだといえる。車中泊ではとめる場所に気を遣い、人が往來する場所ではなるべく避けて、ハンゴが邪魔になりそうな場所では、出入りのとき以外にはテント内にハンゴを収納している。これを守るだけでいまままでにトラブルはなし。「居住性のよさは軽キャンパー以上ですね」という佐藤さん。快適に寝る場所が欲しいと多々思っている人にピッタリだ。



●軽自動車のはやりのDIY？ 前出の千葉さんと同様にリヤに折り畳みテーブル、しかもダブルだ



●実物をすっきり整理するために棚を製作。さらにリヤにボックスを付けて、キャンプ道具を収納している



マジョリーナ サファリ
(カップルサイズ)

購入年月：'06年3月
取り付け車：アルトラバン



自慢のインナーテントをDIYして
外気がマイナスだってOK！

佐藤進さん（感）

神奈川県横浜市